

琵琶湖レジャー利用の適正化に関する取組について

滋賀県琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例について

平成 14 年 10 月 22 日に公布、平成 15 年 4 月 1 日から施行

- ・プレジャーボートの航行規制（騒音の防止）
- ・従来型 2 サイクルエンジンの使用禁止（水質負荷の低減）
- ・外来魚のリリース禁止（生態系の保全）

平成 18 年 3 月 30 日に一部改正公布 平成 18 年 7 月 1 日から施行

- ・地域協定制度の創設（地域の取組の支援）
- ・2 サイクル規制適用猶予期間に特例措置認定を導入 他

平成 23 年 3 月 22 日に一部改正公布 平成 24 年 10 月 1 日から完全施行

- ・従来型 2 サイクル艇の航行禁止違反に対する罰則化
- ・適合証の表示義務および違反に対する罰則化
- ・適合証交付手数料の有料化 他

I プレジャーボート対策について

1 現状

1) 従来型 2 サイクルエンジンから環境対策型エンジンへの転換率について

平成 25 年 4 月現在で、滋賀県登録船全数の環境対策型エンジンと従来型 2 サイクルエンジンの搭載割合は 82.6%対 17.4% となり、前年度より環境対策型エンジンが 7.0%増加 した。

なお、近隣 6 府県（京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、岐阜県および愛知県）の登録船の無作為抽出 10% では、38.6%対 61.4% であり、2.1%増加 した。

滋賀県の環境対策型エンジンへの転換率は、近隣 6 府県の転換率を大きく上回っている。

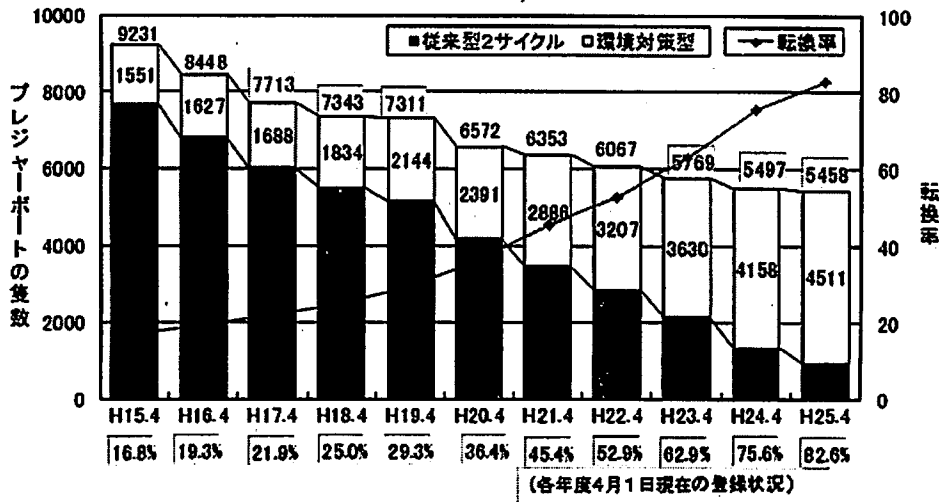
滋賀県登録船と近隣 6 府県登録船の比較

	滋 賀 県			近 隣 6 府 県		
	環境対策型	従来型	転換率	環境対策型	従来型	転換率
平成 22 年 4 月	3,207	2,860	52.9%	866	2,281	27.5%
平成 23 年 4 月	3,630	2,139	62.9%	967	1,921	33.5%
平成 24 年 4 月	4,158	1,339	75.6%	996	1,730	36.5%
平成 25 年 4 月	4,511	947	82.6%	1,023	1,624	38.6%

転換率：環境対策型 / (環境対策型 + 従来型)

(滋賀県琵琶湖レジャー対策室調べ)

県内小型船舶登録隻数と環境対策型エンジンへの転換率の推移



2) 主な利用箇所における水上オートバイ利用隻数について

- ・平成 25 年度は、前年度と比較すると微減している。
- ・全体として利用者が減少する中で、湖岸への侵入防止策（杭や置石等）を講じてきたことにより、水上オートバイの揚げ降ろしも集約が進み、監視活動も容易となってきている。
- ・主な利用箇所は、大津市松の浦、近江舞子、北小松地区と彦根市松原であり、水上オートバイの航行を規制した野洲市吉川地区では利用は減少した。

主な利用箇所における水上オートバイ利用隻数の推移

主な利用箇所	平成 14 年	平成 15 年	平成 18 年	平成 21 年	平成 24 年	平成 25 年
大津市柳が崎	317	155	68	1	0	0
大津市松の浦	68	44	28	6	11	25
大津市近江舞子	342	119	115	68	84	50
大津市北小松	68	18	40	27	81	68
彦根市松原	108	65	36	34	28	45
彦根市新海浜	82	49	11	0	0	0
野洲市吉川・菖蒲	71	53	38	34	18	10
他	466	207	135	58	76	77
合計	1,522	710	471	228	298	275

(7月下旬から8月中旬までの晴天の日曜日一日の水上オートバイ利用隻数)

2 今年度の取締り状況 (陸上監視：244日、湖上監視：26日)

①従来型2サイクル艇の航行禁止違反

- ・囑託員による陸上監視 航行中1隻 使用を中止させる  
停泊中1隻 使用を中止させる
- ・監視船からの湖上監視 航行確認事例なし

## ②適合証の表示義務違反

- ・ 嘱託員による陸上監視 138隻 申請を指導する
- ・ 監視船からの湖上監視 7隻 申請を指導する

## ③適合証の発行枚数

平成25年4月から11月末まで 総数1,766隻

平成23年11月からの累計8,743隻

内訳 (H25年4月～11月 1,766隻)

種別別 水上オートバイ:1,084 その他のプレジャーボート:682

申請者別 個人:1,589(90.0%) 指定保管業者:177(10.0%)

個人府県別 滋賀県:260(14.7%) 大阪府:449(25.4%) 愛知県:212(12.0%)

岐阜県:185(10.5%) 京都府:151(8.6%) 三重県:80(4.5%)

奈良県:71(4.0%) 兵庫県:71(4.0%) 東京都:21(1.2%) 他

## 3 課題

○ 県外者の利用増が予想されるため、県外者に対する条例の周知

- ・ テレビでの「びわ湖のレジャー紹介」番組の増加
- ・ 中部圏（愛知県、岐阜県、三重県）からの水上オートバイ利用者の増加。

## II 外来魚のリリース禁止について

### 1 回収ボックス、回収いけすの実績（平成25年11月末）

- ・ 回収ボックス（71基） 11,676.5kg （昨年同月末 14,314.1kg 対比 81.6%）
- ・ 回収いけす（29基） 993.0kg （ 1,030.9kg 96.3%）

#### 回収ボックス

膳所港（大津市） 859.6kg 市民会館前（大津市） 738.6kg

雄琴港（大津市） 468.5kg 帰帆島（草津市） 465.4kg 他

#### 回収いけす

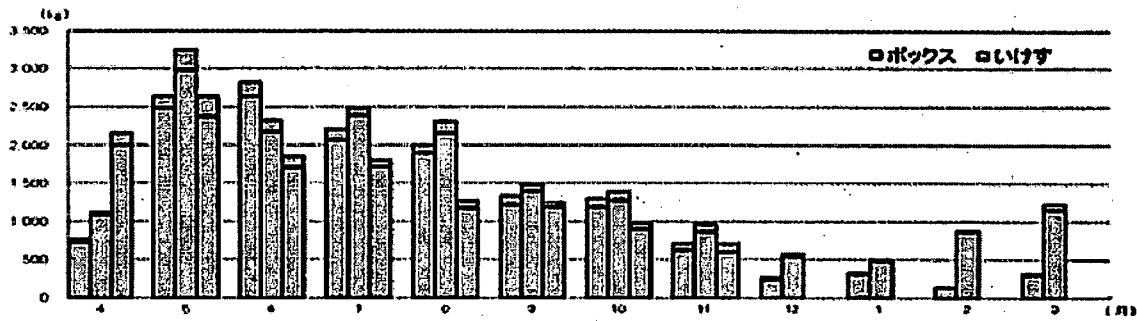
和邇漁港（大津市） 163.6kg 吉川漁港（野洲市） 103.1kg

木浜内湖（守山市） 83.8kg 飯浦船だまり（長浜市） 68.7kg 他

#### 推測される減少した要因

- ・ 大型のブルーギルが減少し、小型のブルーギルが多かったため
- ・ 夏季に釣り人が少なかったため

## 過去3年間の月別回収実績の推移



各月の棒グラフは左から H23, H24, H25 の実績

## 2 外来魚駆除釣り大会の開催

### 1) 滋賀県主催

平成 25 年 7 月 20 日 (土) 大津市浜大津港

参加者 820 名 (昨年 762 名) 大津市 212 名、京都府 177 名、大阪府 174 名  
回収量 115.5kg (昨年 56.5kg: 途中降雨)

#### ○今後の予定

平成 26 年 1 月 25 日 (土) 彦根市旧港湾 (昨年 155 名、27.0kg)

平成 26 年 3 月 8 日 (土) 彦根市旧港湾 (昨年 249 名、53.7kg)

### 2) 日本釣振興会滋賀県支部との合同開催

平成 25 年 10 月 20 日 (日) 草津市志那中

参加者 30 名 (昨年 177 名) 終日雨天  
回収量 21.9kg (71.0kg)

## 3 外来魚釣り上げ隊の募集

企業・団体・個人に外来魚の「釣り上げ隊」への登録と釣り大会の自主開催を呼びかけ、釣り上げ駆除の普及を進めている。

### 外来魚釣り上げ隊のこれまでの結果について

年 度	団体数	参加者数(人)	回収量(kg)
平成 21 年度	11	897	128.5
平成 22 年度	20	1,348	345.8
平成 23 年度	25	1,435	283.4
平成 24 年度	34	2,678	538.2
平成 25 年 11 月末	38	3,807	727.3